

朝、夕は涼しく感じ、気温差が激しくなってきました。体調に気を付けて生活しましょう。
今回のテーマは趣味です。

皆さんは趣味をもっていますか？趣味をもつことはとても大切な息抜きになると思います。
三年生は修学旅行、二年生は職場体験を終え、一年生はこれから校外学習があり、全体では合唱祭と忙しい日々が続きます。趣味を良い息抜きにして、長い二学期を乗り越えていきましょう！

(担当：)

図書委員おすすめの本

<テーマ 趣味>

『13歳からの身になる読書術 探し方・読み方がわかる本』019/お



秋と聞いてよく耳にするのは「読書の秋」だと思っています。他にもいろいろとありますが、自分は読書が好きだからこそ秋は一層読書にいそしむことが多いです。今回紹介する本は、本を読むのが得意でない人にも興味をもってもらえると思います。どのようなことに着目すると読書が楽しくなるのか、自分の好みのジャンルをどうやって探すのか、そんなことがこの1冊にまとまっています。ぜひ、この秋を機に本に興味をもつきっかけを作ってみてください。

(担当：)

『クラシック音楽への招待 子どものための40の楽曲たち』760/い

皆さんは自分の趣味を即答できますか？僕は馬鹿にされるのが怖くてできませんでした。そんな私の趣味は音楽です。特別クラシックが好きではなく、音楽に関係のある本を手に取り気軽に適当に読んだら、教科書でおなじみのオーケストラ曲の威風堂々、カノンなど皆さんもよく聞いたことのあるような曲を難しく紹介しているわけではなく、曲のおすすめポイント作曲家の話、裏話などを紹介していて、なんだか気になるそんな気持ちになりました。

この本を読んで、東原の音楽の授業でも出た曲をもっと知り、音楽をもっと好きになって、吹奏楽部に入部してください。

音楽に興味がある、音楽が好きな人におすすめです。

(担当：)



『思い出のマーニー』B933 /ろ

私の趣味は映画を見ることです。

この本は登場人物のマーニーとアンナの固い友情と2人の成長が書かれています。

映画では気づかなかった登場人物の気持ちがわかったり、映画には出てこなかった場面を読むことができます。

思い出のマーニーを映画で見たことがある人も、まだ見たことがない人も新しい発見があると思うので、気になった人はぜひ読んでみてください

(担当：)

私と読書 先生



1 巻

『十二国記』
小野不由美 著
B913 お

1~9蔵書 10 近日入荷予定



10巻



1 巻

『図書館の魔女』
高田大介 著
B913 た

1~4蔵書5~7近日入荷予定



7巻

最近になって、以前読んだ本の続きが発売されることがあった。とても面白いと思った物語で、次は出るのだろうか？出るならいつなのだろうか？とずいぶん長いこと期待していたものだ。

一つは学校図書館にもある有名なシリーズで、「十二国記」という。面白いことは友達と分け合いたいのので友達に勧めた。今でもその話ができるのがとてもうれしいことだが、毎回一番はじめに貸した巻の前半の話になる。なかなか衝撃的な上巻で、読めども読めども主人公が救われる様子がなく「この話、もしやこのまま救われないのではなかろうか…」と思う。興味をもった人はくじけないで欲しい。その世界や様々な立場の人達の織りなす世界は面白い。

もう一つはシリーズではないのかなと思っていた。「図書館の魔女」という。読んだときは面白い物語と言語の成り立ち構成が絡んでいて、夢中になって読んだ。これきりの完結なのかなと思っていたら、ここで続巻が出た。利用している図書館では大分待つ。この物語に夢中になった人がいるのだと思うと嫌だけれどうれしい。

今夢中になった本、それについて話したことは、今だけでなく大人になっても私たちの生活を豊かに彩る一つになる。読書の秋に新しい出会いがあるとよいと思う。

本は、自分に新しい世界を見せてくれるもので、本を読んでいる時間は、自由に想像(妄想!?)を膨らませてよい自分だけのものだと思います。同じ本でも、読んだ歳によって印象が変わるものがありますね。

ぜひたくさんの方にふれ、読書を楽しんでください。

(担当:)

私と読書 先生



1 巻

『頭の体操』
多湖輝 著
798 た
1~7蔵書



1 巻

『頭の体操 BEST』
多湖輝 著
798 た
1・2蔵書



『たった一日で作れるおせち』
金丸絵里加 著
596 か

子供のころ、ふと家で見つけたのが「頭の体操」という本。新書サイズで大人向けかなあとちょっと背伸びした気分。実は、クイズやパズルで、柔軟な発想からくる、意表を突いた解答を楽しんだ。同時に推理小説も。どちらも「注意深く読み、状況を把握し、あらゆる方面から正解を考える。」楽しさ。物事には必ず原因がある。原因探し=謎解き、私の思考にこれが根付き、今につながっている。(失せ物探しが得意等。)

また、ある日祖父母の家で、お菓子作りの本に出会う。美しい写真に魅せられ、作れると気づき、夢中になった。洋菓子では、クッキー、ケーキ、パイ、タルト、シューにエクレア、パンにディニッシュ、和菓子はまんじゅう、羊かん、餅菓子等、読んで考え週末に作った。楽しい。美味しい。幸せ。と共に、体重の増加。まずい。でも止められない。辞めるなんてつらい。そうだ、三食の食事は不可欠だから、食事系を作れば良い、太る心配もない(?)。折しも中1の冬休み、「お正月料理を調べる、作る」家庭科の宿題(どこかで聞いたことがある?)、家にあったNOK 料理テキスト過去5年分、宿題を言い訳に読みあさり、料理を続けた。失敗もしたが、その時は推理小説のように、結果を受け止め、原因を考え、次につなげた。

今でも、東原中学校図書館での料理本、レシピチェックは欠かせない。先日の失敗の解明、今晚の献立の立案など、心身の幸せの糧である。

あなたを作っている本は何ですか。これから、あなたはどんな本で出来上がっていきますか？

(担当:)